

緊急輸送道路である青山通り沿道に 災害対策と地域特性を踏まえた複合ビル（青朋ビル）が竣工

独立行政法人都市再生機構（以下、「UR都市機構」と）と、青朋ビル株式会社（以下、「青朋ビル（株）」）が共同で建替えを進めてきた青朋ビルが令和6年4月5日に竣工しましたので、お知らせします。

この共同建替え事業は（以下、「本事業」）、緊急輸送道路である青山通り沿道に位置する旧青朋ビルと、隣接する旧第二青朋ビルとを一体で、建物所有者であるUR都市機構と青朋ビル（株）が共同で建替えを実施することにより、災害時の青山通りの被害低減を図る緊急輸送機能を確保しつつ、青山エリアの地域特性を踏まえた街並みおよび複合市街地の形成を行う事業です。平成26年に2者間で共同建替えに係る協定を締結し、現在まで本事業を推進してきました。

本事業地区は、東京メトロ銀座線の表参道駅から徒歩4分の青山通り沿道に位置し、周辺にはオフィスや高級住宅、ハイブランド店等が立ち並んでいます。

竣工した建物は旧青朋ビルの歴史を継承しながら、周辺施設との調和を図ったデザインから成る高機能のオフィスと住宅の複合ビルとなります。

事務所と最上位部に位置する共同住宅部分のセキュリティは明確に区分しつつ、「暮らし働く人々の社交場」として温かみや居心地の良さを意識した内装を施しました。地上および屋上等にも植栽を配置し、また、災害対策や環境にも配慮した高機能物件として整備しました。



【本件に関するお問い合わせ先】

UR都市機構

東日本都市再生本部 都心業務部 (電話) 03-5200-8605
東日本都市再生本部 総務部総務課 (電話) 03-5323-0625

【外装デザイン】



**レガシーの継承と
周辺の調和**
 現代的な洗練されたデザイン
 (明るい外壁と縦ルーバー)、旧青朋ビルがつないできた歴史(レンガ調タイル)をかさね組み合わせる

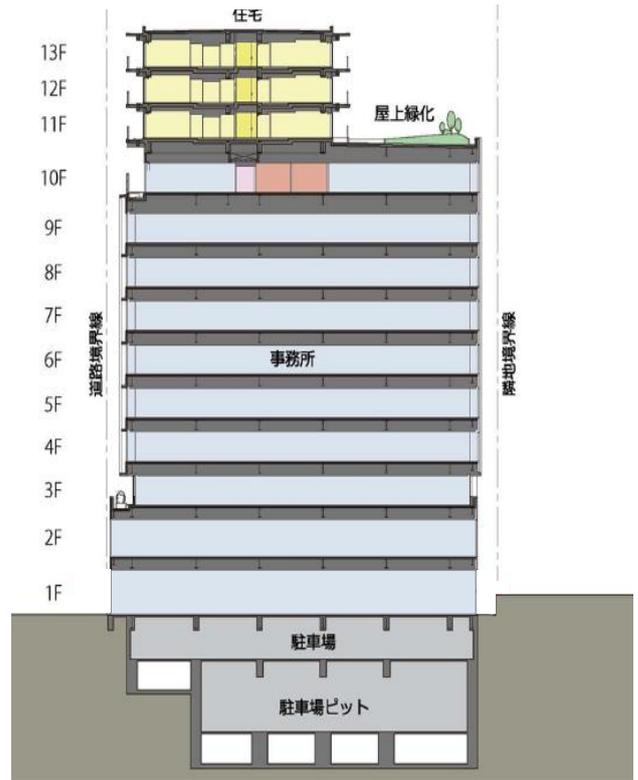
近景”従来の青朋ビル”
 ルーバーによって隠されていた旧青朋ビルをイメージさせるレンガ調タイル

遠景・中景”淡い色調”
 ルーバーの印象が強くなり周囲の色調に溶け込む

【エントランス】



【立面イメージ図】



←オフィスエントランス (左) 住宅エントランス (右)

【建築物の詳細】

物件名	青朋ビル
事業者	独立行政法人都市再生機構、青朋ビル株式会社
基本設計	株式会社久米設計
実施設計・施工	清水建設株式会社
工事監督業務	株式会社日東設計事務所
所在	東京都港区北青山三丁目5番
交通	東京メトロ銀座線・半蔵門線・千代田線「表参道」駅徒歩4分 東京メトロ銀座線「外苑前」駅徒歩6分
敷地面積	約 2,200 m ²
建築面積	約 1,700 m ²
延床面積	約 18,000 m ²
建物高さ	約 55m
構造	鉄骨造 (一部鉄骨鉄筋コンクリート造)
階数	地上 13 階、地下 2 階、塔屋 1 階
主要用途	事務所、共同住宅 (24 戸)

【位置図】



UR都市機構の歩みは戦後の住宅不足解消に端を発しています。1955年から様々なステークホルダーとともに、時代時代の多様性に即し、安全・安心・快適なまちづくり・くらしづくりを通して、「人が輝く“まち”」の実現に貢献してまいりました。そしてこれからも、変化する社会課題に挑戦し続けることで皆さまにお応えし、「人が輝く“まち”」づくりに不可欠な存在でありたいと考えております。これまで培ってきた持続可能なまちづくりのノウハウをいかし、都市再生事業・賃貸住宅事業・災害復興支援・海外展開支援に全力で取り組んでまいります。

<https://www.ur-net.go.jp/>



UR都市機構は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。